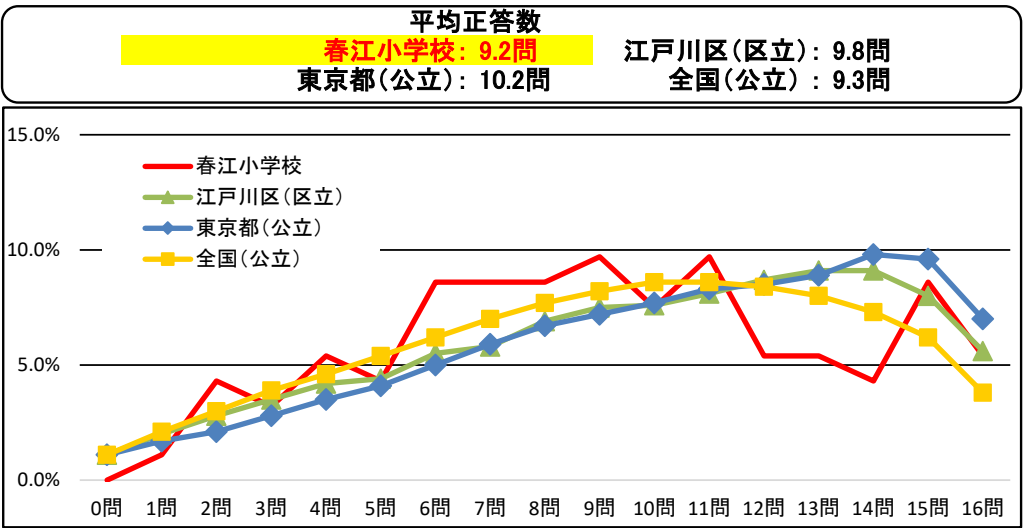


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【算数】春江小学校

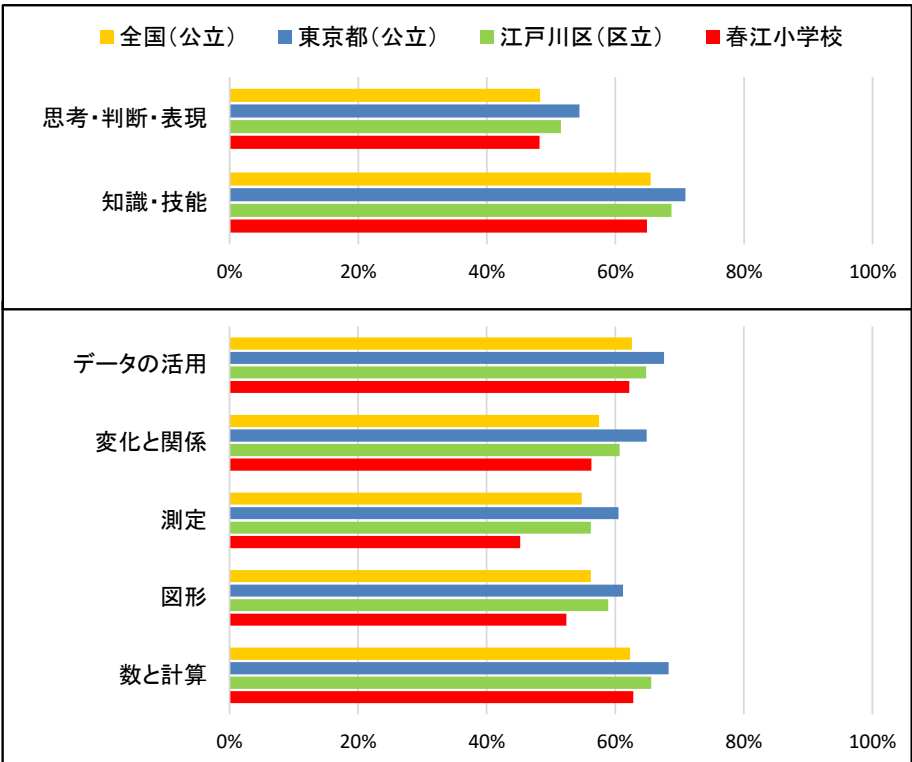
正答数分布



【平均正答率の差】

春江小学校	58%
江戸川区(区立)	61%
東京都(公立)	64%
全国(公立)	58%
都との差(ポイント)	-6.0

「領域別」の結果

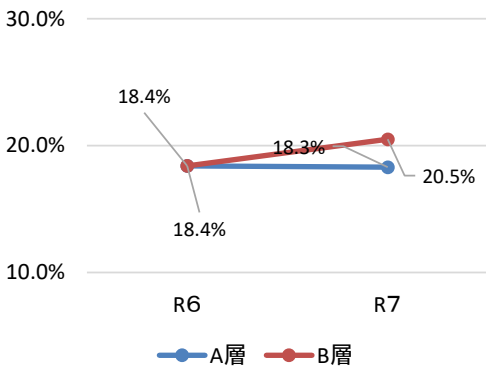


四分位における割合(都全体の四分位による)

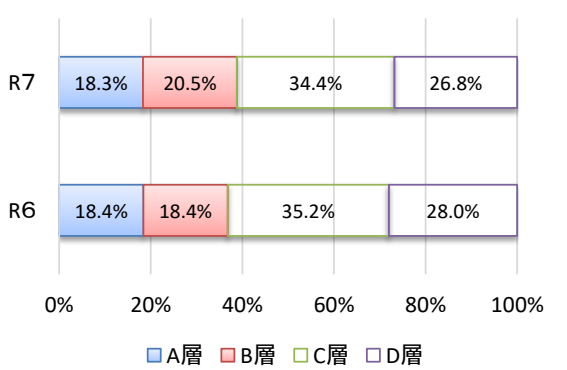
算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 7~10問	D層 0~6問
春江小学校	18.3%	20.5%	34.4%	26.8%
江戸川区(区立)	22.7%	25.9%	27.9%	23.5%
東京都(公立)	26.4%	25.7%	27.6%	20.3%
全国(公立)	17.3%	25.0%	31.4%	26.3%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

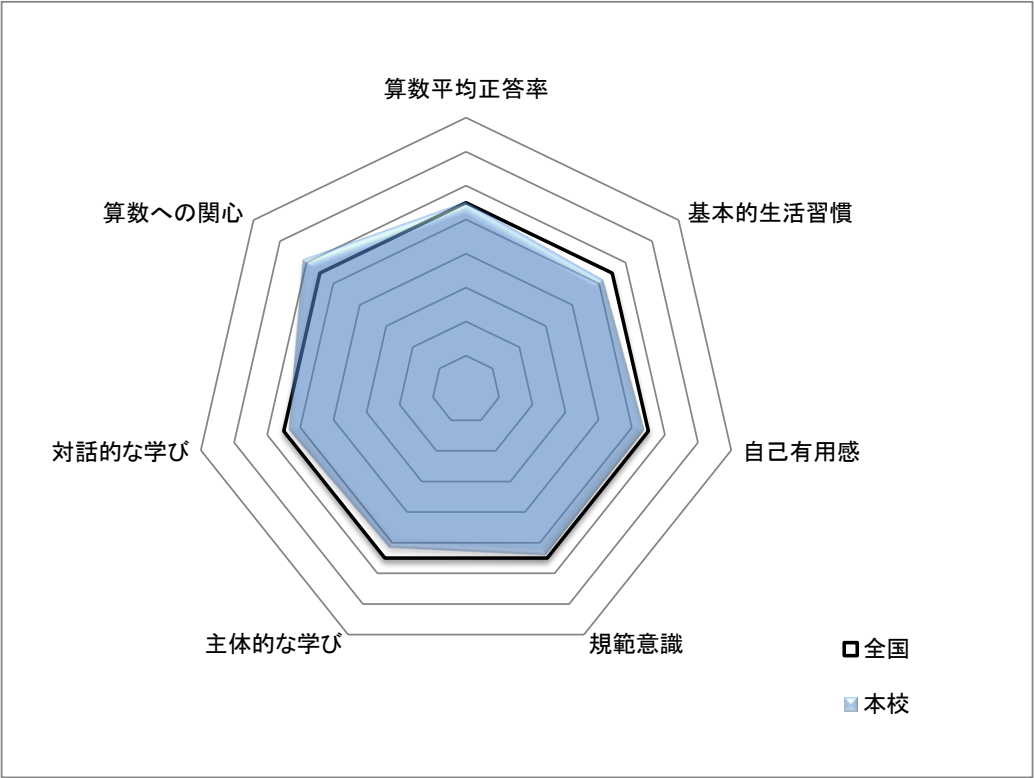
AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《チャートの特徴》

- 算数の平均生徒率は、高くないものの、算数への関心は全国平均と比較し、高い。
- 自己有用感、規範意識、主体的な学び、対話的な学びについては、全国平均をやや下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- 保護者会や学年だよりなどで、学習内容や身に付けさせたいことを共有し、家庭での学習習慣を身に付けさせる。
- 家庭内での仕事を分担し、仕事をしたら、子供をほめることで、子供の自己有用感を育てていくことに協力してもらう。

《現状把握》

- AB層の割合と取組内容について
- ・AB層の割合は、令和6年度と比較し、やや上回っている。今後も自力解決の場においては、様々な方法で問題解決学習に取り組ませていく。また、発展的な問題にも自ら取り組ませていく。

《学校の取組》

- ・教員の指導力向上
- ・校内研究の充実(わかる、できる、楽しい、もっとやりたい)を図る。
- ・ICTを効果的に活用した授業改善を図る。
- ・教科担任制による指導(4~6年)・校内研修(春江塾)を実施する。
- ・ねらいに即したまとめ、振り返りの実施する。

・基礎学力の保障

- ・ミライシードを積極的に活用する。(授業、朝学習、家庭学習)
- ・東京ベーシックドリル診断テストを年間3回実施する。
- ・江戸川区学力定着度調査の活用(4、5年)

・学習習慣の確立

- ・江戸川っ子study week!での学習習慣の確立を図る。
- ・家庭との連携・SNS学校、家庭ルールの徹底を図る。

・AB層の育成

- ・算数少数指導においては、知識・技能はもちろん、思考力・判断力・表現力等の向上を図るために、数学的活動をより工夫し、児童一人一人の主体的な学びを促していくことが大切である。前時の振り返りと既習事項の定着を随時確認し、課題に取り組んでいく。